常磐毎日新聞
日刊
六月六日夕刊
常磐毎日新聞社
常磐毎日印刷株式會社

木戸內相來郡
親しく六號國道や
小名濱港灣を視察

平市を始め關係各町村長の熱烈な陳情運動効を奏して平市を中心とする六號國道改修に關し先には宇都宮內閣東北局長が具さに路線を調査したが、更らに木戸內務大臣は改修工事に關する鍵を握つて來る十一日來郡、親しく右國道を視察し尙ほ十二日は目下問題視されて居る小名濱港を視察し同第二期築港の採否の腑を決する由

郡下の徵兵檢査
各町村の日割が決定

石城郡下に於ける壯丁の徵兵檢査は既報の如く八月二日から平第一、植田兩小學校講堂で行はれるが各町村の日割は左の如くである

△八月二日小名濱町、大浦村△三日澤渡村組合、湯本町△四日川前村、好間村△五日鹿島村、內鄉村△六日磐崎村、玉川村、草野村△七日大野村、下小川村組合、四倉町、永戶村組合△八日豐間村、赤井村、九日高久村、夏井村、飯野村、神谷村△十日江名町、內鄉村△寄留者△十三日入遠野村、川部村、田人村組合△十四日山田村、渡邊村、泉村、錦村△十五日上遠野村、勿來町、植田町

小名濱の
報國貯金
五萬圓突破
更に十萬圓に邁進

小名濱信組では本年一月から貯金報國の國策に添へ三ケ年据置報國貯金總額五萬圓を獎勵開拓中であるが既に五萬九千四百圓を突破したので長瀨組合長は更に十萬圓を目標として目下大馬力で募集中であるが從來の傾向から見て獎勵を待たずに申込みのあるのが例で十萬圓目標も樂觀されて居る

禁煙貯金
勿來報國會

勿來町窪田部落では前田清次郎、山田義通、關根忍川井元太郎の諸氏が發起となり〃勿來禁煙貯金報國會〃を結成、會員は一日から禁煙を實行、この煙草代として毎月三圓づつを貯金することになつた、資格は廿五歲以上の男子で同部落居住者に限る違反した場合は毎月卅錢の罰金をとられる、すでに入會者廿餘名で町の經濟更生も禁煙からと會員達は我慢競べをしてゐる

堆肥の增產に
國有林を開放
無盡藏な落葉類に
山間部農村大喜び

郡下各町村農會では金肥の防壓策としての農家に對し極力堆肥增產計畫を獎めてゐるが堆肥製造に要する材料難からなか〳〵思ふやうに行かぬ實事にあるため平營林署ではこれが助成方法として國有林を開放、落葉その他を採取せしめこれによつて堆肥增產をさせることになつた、これによつて郡下三阪、澤渡は勿論山間部の農村は殆ど無盡藏に有する國有林內の落葉その他をかき集め堆肥製造をなすことが出來るので營林署の國有林開放に少からず感謝してゐる

漁業の村移管に
劍ケ濱漁業組合が反對

泉村の劍ケ濱漁業組合は昨年六月保證責任劍ケ濱漁業共同組合に改組以來順調な成績を示し十三年の如き十二年の倍額の漁獲高を擧げたが最近に至り村議の一部に漁業事業の村移管を唱へるものが現れ組合側を憤慨せしめており目下瀧內組合長以下各組合員擧つて「成績の擧がらない時は見向きもせず、最近良くなつたからとて村移管を唱へるなんて絕對反對だ」と運動を開始してゐるもの〻村民には村移管を希望するものも大部あり今後の成行を注目されてゐる

泉村役場を新築
七十七坪の總二階

泉村ではこの程工費五千五百圓を投じ役場を新築することになり去月十一日地鎭祭を執行工事に着手したが建坪七十七坪造總二階建で今月末竣工來月早々に落成式を擧行する豫定である

落盤で壓死

好間村古河炭礦採炭夫吉田新之助君（三二）は四日午後六時半頃第二斜坑內で作業中落盤のため壓死した

五十圓の拔取犯人
徘徊中捕る

植田署では五日夜驛前を徘徊してゐた擧動不審の男を檢擧したが取調べの結果同人は仙臺市生れの相馬郡石神村高倉鑛山の雜夫で去月五日同僚鈴木佐一郎君のトランクから金五十圓を窃取逃走中のものと判明した

印刷の御用は
常磐毎日印刷株式會社へ
電話六三〇番

小名濱支局通信
植田の種相（上）
支局長　小野務平

▽驚、古川、兩家の不幸△

植田町を尋ねて誰もがピンと來る事であらう昨年四月下旬古川家に取つては大事の嗣子忠助君の登貴子夫人が二十九才の弱冠で逝去された事を登貴子夫人は然かも家附きの一人娘で古川家にはかけがいのない立場の夫人であつたが遂に歸の客と化した、未だ哀愁の淚乾かざる內に又植田町には時も晩春五月下旬今度は驚家の長女壽子孃が三十一才を最後として逝去されたと云ふ悲報を齎したるの如何に悲哀の奏曲であらう

植田町は驚、古川の兩家は財力にも人物にも他の羨望に値する程雁行的に立ち並むで何れも德望家としての名が高い許りでなく縣議となり町長となり、其相前後して政治に自治に、能く地方的にも盡瘁する其量に於ても殆と甲乙のない程盡し合つて居る兩家に對して一年有半ならずして兩家同樣の愁傷に襲はる〻と云ふ事は好事魔の甚だ惡むべきを痛感せずるには居られぬのである

唯茲に聊か意を安し得るではないと云ふのは驚家には長女たるに於ては古川家同樣だが別に嗣子男がある點で古川家を見舞ふと別箇の感に打たれる樣な氣がする、然し親子の情味から見れば兩家の悲愁は人生中の最極度のものである事に誰か異議があらうか

▽植田署近來の英斷△

誰れも彼れも首肯し得る惡逆を懲し善行を表するはこれはこれ檢非違使たる役目に在る警察署としての當然なる任務で所謂勸善懲惡が其骨子である筈だが往々にして地方の豪族に氣がねしてその任務を果し得ないものがないでもない、植田署は此等の弊を打破して毅然に植田町助役某の惡事を摘抉して目下其檢擧にメスを振つて居る一事は現今の警察界には英斷と云ふ評斷は決して無理でないそれ許りでなく泉村議の某をも此亦檢擧の手を延べて搜査に掛かつて居ると云ふので益々其手柄の大なるものを痛感せしめる所が茲に又新らしき事件の伏在して居る事を知つて居るかどうかと云ふ物知り屋の私語である

泉村役場を繞つて改印や證明書交付願の委任狀の偽造をなして物件の上に抵當權の設定と云ふ危險極まる所有權の破壞を企てた裡面に委任狀に依る改印屆が果して法に[illegible]す所かどうかもし可とすれば人の印鑑を委任狀一通で改印してそれを使用し得ると云ふ事となり憲法上の所有權はグラツキ初める事ともなるのでこれは其裏面に何事かの默約があるのでないかと云ふ憶測であるが此點に就ては檢非違使格の警察で知らぬと云ふ事はないではないかと痛くない腹を搜らる〻の觀を呈して居る、此者に就ても充分のメスを容れてどうかと云ふ噂が聞くともなしに耳にした（未完）

百圓を懷ろに
逐電した揚句
偽電で百五十圓騙取

平署では小名濱町船引場漁業高橋友吉氏方漁船機關手菊地德次郎（二三）が去月二十日頃主人の金百圓を懷ろに茨城方面へ漁夫募集に行つたま〻姿を晦ましたので目下各署に手配行方搜索中だが其後調査の結果「ミツカツタマルオクレ」の偽電で百五十圓を騙取した外所持品は何時の間にか全部持去つたこと判明係官もヤツキとなつてゐる

植田女教員會

植田方部の女教員會は四日植田小學校で開催、事變下の兒童教育方針、[illegible]改善等を協議したが役員は改選の結果左の如く決定された

△會長植田古川△副會長勿來西鄉、錦齊藤、入遠野折笠

夏形天候
測候所觀測
未だ本格的でない

雷雨時に來たる昨今の天候につき小名濱測候所では左記の如く語る

昨今の天候は氣まぐれで何となく入梅季の氣分を思はせるが又入梅とまでは行かぬ只北海道方面に高氣壓が頑張り揚子江上空に低氣壓があるのでこんな氣象となつて居るので雷雨が時々來るが高氣壓が八丈島の方に廻つて頑張る樣にならなければ夏の本格的天氣とは言へぬ

二歲駒の市
三ケ所に廢合

石城郡產馬畜產組合の二歲駒セリ市は從來四月から五ケ所で行はれてゐたが今年からは馬政改革により市場を三ケ所に廢合左記日割で行はれることになつた、出場數は從來四月から五月までに早くも現金に換へてゐた習慣で今月末まで馬を持ちこたへることが出來ず早くもボツ〳〵手放してゐる關係から例年より若干減少するらしいが馬質は頗る良好なので數年來にない高値を豫想されてゐる

△上遠野六月三十日から七月三日△中寺七月五日から七日△磐崎七月九十の兩日

農地の調整
三ケ村の委員

昨年八月から實施された農地所有者並に耕作者の地位の安定、農業生產力の維持增進、經濟更生、農村平和の保持を期する農地關係の調整を行ふ地方の農地委員は近く各市町村毎に任命されるが先づ鹿島、豐間、內鄉の三ケ村が左の如く任命された

△鹿島—志賀直哉　鈴木一男　赤坂稔　志賀久馬　新妻一行　高萩一枚　佐藤末治　園部平重△豐間—山野邊茂五　馬目仙十郎　四家富雄　志賀重右衛門　鈴木留吉　久保木巳之松　鈴木德治　鈴木一　熊谷四郎△內鄉—鈴木彥彌　瓜生新六　金澤良一　小松武市郎　四家又一　野木安吉　吉田作三郎　草野庄太郎

棒高飛
新記錄
常磐炭振ふ

常磐炭礦陸上競技部は四日水戶市水府グラウンドで擧行された茨城陸上競技協會主催の第五回大會に出場、日立鑛山、日立製作所、水戶陸上クラブと覇を爭へ惜しくも第二位になつたが森山選手は棒高跳に四米七五の新記錄をつくつた

桑園害虫
錦校で驅除

錦村小學校では尋常科四年以上の兒童を總動員九日村內桑園等の一齊害虫驅除を行ふ

苗代消毒
病虫害驅除

平市農會

平市農會では七日十三日の兩日病虫害驅除の苗代消毒を行ふ

高久校驅除

高久小學校では今六日全校兒童を總動員して苗代の害虫驅除を行つた

水田二毛作

夏井村農會ではこの程水田二毛作品評會を催した

大浦村鄉軍

大浦村在鄉軍人分會の新役員はこの程左の如く決定された

△會長早川禎藏△副會長酒井銀平、新妻壽男
△會計鈴木幹男

長鯨を
歡迎！
花火數十發

既報來る十二日潛水母艦〃長鯨〃を迎へる小名濱町では五日これが歡迎方法其他を協議したが岸壁に大アーチを建て入港の際花火數十發を打ち上げるほか點呼に參列する各市町村長と合同新米で艦長以下の歡迎會を催すことになつた

商友支部旗

平商友會では磐炭支部の支部旗を調製する事になつたが調製委員は左記の如くであると

鈴木武雄、宮川義一、本田謙二、坂本忠治

人夫鉛管泥

植田物產會社雇人夫茨城縣生れ鈴木保助（三七）は昨年八月來數十回に亘り錦村人絹工場から鉛管共他百六十圓分を窃取したこと發覺五日夜植田署に檢擧された

協和旗樹立

植田協和會では過般來會旗新調中であつたがこの程出來上つたので來る十一日同町八幡神社々頭でこれが樹立式を擧行することになつた

金成氏寄附

錦村貴族院議員金成通氏はこの程同村鄉軍分會基金として百圓を寄附した

致死の判決

前報內鄉村字內町磐炭坑夫高橋清七（四〇）に係る過失致死並に傷害事件の公判は五日平區で開廷禁錮七ケ月但し執行猶豫三年間の判決を言渡された

關西旅行記
平商修學旅行團

（第四信）奈良猿澤の池畔に柳の枝が、靜かに揺れてゐます。南圓堂前の五重の塔が、朝日を受けてかすかに光る瓦を倒影してゐます。三月堂、二月堂、春日神社、東大寺大鐘堂、春日山こ〻いらあたりは、駈足に近い急行軍です、なだらかな若草山のスロープにも、春日神社の廣い境內にも鹿が群がつてゐて、しきりにおじぎしながら私達の方へ近づいて來ました。所で皆さんは鹿の本當の鳴聲を知つてゐますか？、鹿はよく聞いてゐると『なんのかいよ』と鳴くさうです。古典的な奈良の情緒はこれらの・鹿にも、群れてゐる鹿の姿態にも感じられる。東大寺、大佛、三月堂など美しく壯大な建物でも、食傷した私達の眼にはいつそ、うらめしい位。奈良は柔らかな靜かな都です以上で不完全なる奈良の橫顏描寫です。前十時五十一分奈良發十一時四十九分天王寺着。

騷音の都市大阪。怒號と悲鳴と煤煙との中にグレート大阪は常に忙しく動いてゐる。阿部野神社を參拜して電氣科學館見學すばらしいドームの下でプロネタリウムを參觀致しました。グロテスクなプロネタリウムが動き始めると先づ三月の夜空が現はれ、瞬間的に赤道を通過して南十字星を眺め、四十秒で北極星の眞下迄移動して北極の星空を眺めたりして外へ、太陽の光の下へ出た時は、時間的距離的觀念を失つた人間のやうに、頭が變になつて了ひさうでした。朝日新聞社參觀感心はしたが大した事はないしかしとにかく素晴らしい機械です。雜波橋を渡つて宿へ。闇を縫ふ閃々たる光と燃える色彩の幻惑雜音これが夜の大阪です。（二日大阪にて北林唯雄記）

送電線
玉川で盜難

玉川村岡小名地內に置いてあつた東京赤坂區應用電氣會社所有の送電線四十貫のもの一束と九十貫のもの三束が四日夜から五日朝にかけ窃取された事件あり目下平署で犯人搜査中

古鐵類窃取

內鄉村磐炭合宿所坑夫宮城縣黑川郡吉岡町生れ山口勘三郎（三七）は五月一日以來前後數回に亘り同坑倉庫其他から古鐵類共他合計十五圓分を窃取したこと發覺今六日平署に檢擧された

坑夫の惡事

內鄉村磐炭坑夫茨城縣眞壁郡生れ柴森菜（一九）は昨夜平署に檢擧され目下取調べを受けてゐる

同人は三、四日前の夜平市五丁目馬目テツさん方に侵入價格七圓の金テコ共他數點を搔拂つて某古物商に賣却遊興したこと判明したもので引續き餘罪追及中である

磐崎保育所

磐崎尋常高等小學校では兒童の農桑休業を利用來る十三日から二十二日まで小學校內に農繁期保育所を開設四歲から入學前の幼兒を收容することになつたが、保育係には小學校の先生方が當る筈

お斷り

「北支鐵道踏査記」は本日記事輻輳に付休載

メガネは！
平市二丁目
玉屋

平市人事

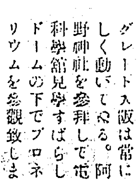
◎出生

△材木町三六岡島正茂氏二女千加子さん

◎死亡

△一町目四九キチさん長男政吉氏（三二）
△鎌田町五武治氏長男三浦淸君（三）
△南町一一安次郎氏四女新妻常子さん（三）
△仲間町四一秋美氏養女西山繁君（一四）
△白銀町三五金藏氏二女青木キク子さん（二二）

今晩の部



▼後六、〇〇　子供の時間　お話「ぐんぐん伸びろよ」
▼後六、二五　講演、笹[illegible]魯羊
▼後七、二〇　國民歌謠「太平洋行進曲」
▼後七、四〇　野口道也
▼後八、〇〇　管絃樂、日本放送交響樂團　交響曲第四番ホ短調
▼後八、四〇　青年の時間　杉野忠夫
▼後九、〇〇　河鹿を聽く（荒天の場合は仙臺より俚謠）
▼後九、一〇　浪花節「隅田堤の仇討」早川燕平

明日の部

▼前九、四五　（幼兒の時間）お話「仲よく遊ばう」
▼前一〇、二〇　家庭講座　食物の化學、ヴィタミンとは何か
▼後〇、〇五　長唄「連獅子」唄、杵屋勝佐外
▼後三、〇〇　（家庭の時間）塵芥の中からどんなものが出來るか
▼後六、〇〇　子供の時間　戰場の華（九）—從軍記者の日記から」
▼後六、二五　農家の時間「田植後の管理について」杉山孝一
▼後七、三〇　國民歌謠
▼後七、四〇　講演
▼後八、〇〇　浪花節「義人垣見左內」廣澤虎若
▼後八、四〇　太平洋行進曲發表演奏會（仙臺市役所前廣場より中繼）一、吹奏樂行進曲。海軍軍樂隊外（雨天の際は八時よりとしスタヂオより齊唱を放送）
▼後八、四〇　人形淨瑠璃「傾城阿波鳴門十郎兵衞家の段」

愛憎三度笠
吉川　延　作
瀧　秋方　画

……（２７６）……

尼◎僧（九）

大助は慄然とした。

何といふ、悲惨な光景なのであらうか。お綾の死と六総を殺した半兵衛の死は分つてゐるが、[illegible]の死は[illegible]といへばそれまでだが、定めて、尼僧をころした者の[illegible]の恐ろしさと、自分が亡き姉の復讐のために、伴れて戻つたばかりに、この殺伐をとの罪悪感から[illegible]ない。それにしても人間に[illegible]い、[illegible]が、意外にも不[illegible]によることを、大助に[illegible]したのである。

大助は、[illegible]のことに、[illegible]してしまつた。若し[illegible]が村民を[illegible]して、[illegible]げれば[illegible]は自分の[illegible]ふりかゝる[illegible]ない

大助は[illegible]へた。お綾の死[illegible]つて、どこへ行つて、埋めてやらう、この晩の人殺のに[illegible]、と、彼は、押入か[illegible]引き出した柳行李に、お綾の死[illegible]を詰め込んだ。それをゴザにまいて、[illegible]をかけて、大助は、ぐつと背負つて、表に出た。

さいわひにして夜中であつた。

奈良から京へ通じる街道を、彼は京都へ目ざしたのは、京都の方が[illegible]手を知るがためである。

丁度、宇治に近いところまで來ると、先方から急いで來た男がゐた。大助と月下に顔を見合せて

「おゝ」

「おゝ」

と、立ちどまつた。

「[illegible]か」

「[illegible]か」

「來るかけふは」

「いや、それよりも、この道を尼僧が一人通りはしなかつたか」

と、源十郎、女六を追うてみうしなひ、さて又大原にかへつて、[illegible]一人の話を聞いて、一人の[illegible]、奈良の方へ行つたとのうわさを聞くや、あとを追つて來たものらしい。

「尼僧が一人？」

大助に又、慄然とした。で、源十郎の顔をながめたまゝ次の言葉を出しかねて、突立つたまゝ動かない。源十郎は、ひやゝかに

「貴公に惚れてゐたことのある女ぢや、後には[illegible]の姿になつた……」

「後には[illegible]の姿？」

大助は、源十郎の言葉を、くりかへして、かたにしてゐた行李をドシリと路上に置いた。

「さう、後には[illegible]の姿、今は尼となつて[illegible]にゐたお綾と申す女人である」

「こゝだ！」

大助は只一言

源十郎は慄然とした

「なにこの行李か」

「さう、この行李、今はの際……も罰にすんだが、貴公にとつては最後の別れ」

「何と、何と、さては……死んだのか」

源十郎は、やゝせき込んで、行李にぐつと手をかける。大助は啞然として月を仰いでなみだを飲んだ。

血に染んだお綾の、美しく死をそつたその顔を、月をすかして源十郎はながめ入つた、サロメのやうに、彼は、お綾の口に接吻した

「死んだのか、殺されたのか」

と、源十郎は、大助の顔を見上げたのである。若しや、大助が殺したのであれば、いよ〳〵こゝが決闘の最後の舞臺だ。

「殺された」

「何者に」

「名もなき土民に……今一足早かればとはこれは愚痴、切ひにして殺した男を、同じ刃で殺しはしたが、俺は、不思議な人間の運命にあきれた。今こゝで、貴公との[illegible]係を聞くばかりか、死者が貴公を慕いたか、なんといふ不思議な死人との邂逅をしたことか……それと俺は今一つ貴公にいひたいことがある。おしんも死んだ。死際に貴公に[illegible]しても[illegible]があつた」

「エッ」

源十郎は、その時の不思議な人かげが大助だと知つてぐつたりした。

多產と女中難

山本杉

東京職業紹介所婦人部の昭和十三年七月から十二月までの女中に關する調査によると女中求人に對して女中志望が五〇%。求人總數一二三六中子供のある家は七三七、そのうち幼兒のある家が三五〇、子供數は三人以上、五人未滿が總數の三六%、二人の家が三五%でこの求人者の五〇%が會社員、官公吏、軍人、教師等の俸給生活者で一人女中といふのが同じく五〇%であると。

之は求人狀態で就職狀態は知る事が出來なかつたが之によると知識中產階級の多產家庭で女中求人の切なものがあるのをうかゞふ事が出來る。

日頃私の仕事の對照となる乳幼兒を持つ母親達の女中難と、もう產み度くないといふ願へを考へ合せて、之は何とかならないものかと思ふ。多產を奬勵して減稅も、月謝の免除もまことに當を得てゐるが產みつゝある母體を顧り、その手の足しにはならない。

子供が細かくて多ければ手が廻りかねる、罹病率もあやまちも多い。疲れた母親は產む事を嫌ひ、育てるよろこびを忘れる之は今の日本には恐ろしい矛盾である。

私は此の產み育てる第一線の母親達を顧り助ける爲に此勞苦を分ち持つ爲に二人の女中を一人に、無くてすむ家庭はなしにして紹介所の當局者も此心持で女中の[illegible]細い子供の多い家庭へ先づ向ける樣に取計られ度いと希望する。

今日のメモ

藥瓶などのコルク栓をマッチで燃しそれを刷毛につけて使ふので、誠に自然に趣よく描けますし、眉毛をいためませんから、薄くなるやうな心配もありません。それにその都度マッチを捨けばよいので一個のコルクで何度も使へます。

御飯を食べる時は仲良しが必ず一緒

偏食やお行儀を直すには…この時を利用する事

子供同士の好き嫌ひ

子供の友達に好ききらひのあることは誰でも知つてゐますが。保姆や親が觀察した仲よし友達と、子供が考へてゐる好きな人とは果して一致するかどうか。また、好きな友達と必ず遊んだり、食事をしたりするか等の事柄は餘り明かにされてゐません。最近百七名の某幼稚園兒について、子供の答へ保姆の觀察、實地調査の三方面から友達關係を調べてみましたのです。

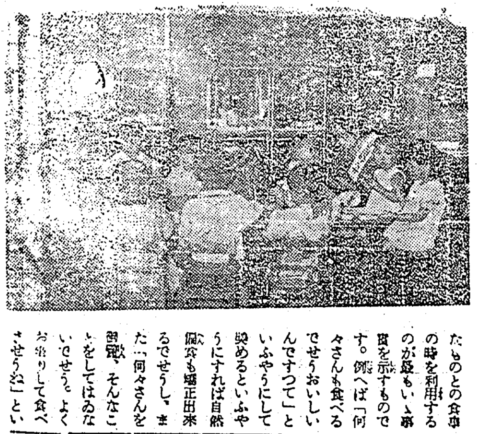
滿四歲を過ぎると子供は好きな友達の名前をはつきりいへるやうになりますが、砂場や遊び場で實際遊んでゐるのは、好ききらひそれぞれ半々位ゐです、遊びの場合に子供にとつては

遊ぶこと が面白いのであつて、誰と遊ぶかは問題でないのです、從つて、遊び友達をみて仲よし同士と考へると間違ひが多くなります、しかし、このことは遊びの場合を利用すれば誰とでも仲よくなり、嫌ひなものが少くなるといふ教育的な暗示を我々に與へてゐるといはれます、保姆のみた仲よしと子供の答へ（好きなもの〻名前）との喰ひちがひが最も少いのは子供たちの食事の時で、約八〇パーセント當つてゐます、つまり、遊びの時、歸る時、その他の場合は離れ〳〵にゐても

食事の 時は必ず好きな同士は隣り合ひ、向ひ合つて坐るのです。一方からいへば、食事の時の觀察を基礎としたから、保姆の答へは當つてゐたともいはれるわけです。ワトソンは犬や猫がきらひな子供には、約一週間も食事の時犬猫を側に置けば怖がらなくなる、といつてゐますが。とに角食事は子供にとつては何よりも精神的に重要なものであることが判ります。きらひなものとは子供は絕對に食事をともにしないのです

偏食や **お行儀** 矯正などは好きなものとの食事の時を利用するのが最もいゝ事を示すものです。例へば「何々さんも食べるでせうおいしいんですつて」といふやうにして奬めるといふやうにすれば自然偏食も矯正出來るでせうし、また「何々さんを御覽、そんなことをしてはゐないでせう。よくお座りして食べませうね」といふやうに。

（厚生省兒童課大羽[illegible]一氏）



水筒に熱い湯を入れる時は

▲學校の遠足や家族連れ立てのピクニックに出かける時には、どなたも水筒を肩にして出かけますが水筒に熱い湯を入れる時には、口まで一ぱい入れるやうにしませんと、コルク栓が拔けなくなつてしまふことがあります

▲それは口のところにすき間がありますと、そこで溫められてひろがつてゐた空氣の量が、冷えるにつれて小さくなります、そのために眞空に近くなつて、コルク栓を強く引きつけるからです

お茶の種類

これから發散してゐないとうつらく〳〵する時候、生氣を呼び起す新茶が見參する茶は山茶（ツバキ）科に屬する常綠灌木で支那、印度、日本などに自生するがその生れ故鄕は印度アッサム地方であるらしい。我國の茶の樹は支那から傳來したものもあるが古く山野に自生したものも相當あつたやうである、さて園藝學的に品種から見れば支那種、印度種、印度アッサム種などに分たれる、我國で栽培する茶樹は殆ど之に屬し、數種を除くほかは殆ど區別出來ないほどに似通つてゐる

紙上美容學校

ひどい脂顏

洗顏と化粧に御注意

【問】十九歲の娘、ひどい脂顏で、目のふちのしみ、小皺になやんでゐます、三時間位たつとべつとりと脂が浮き、鼻の頭は脂で黑いぼつ〳〵が出來て居りますキメも荒く、色もあまり白い方でなく、とくに額だけ薄黑うございます、洗顏、化粧法及び手輕な美顏術を御教授下さい（勝子）

☆…洗顏法—貴女のお顏は脂肪が多いのですから、度々洗顏をなさる必要がございます。微溫湯で良質の石鹸をつけてそつと洗ひます洗顏の後にはアストリンゼントローションをつけておきます

☆…化粧法—最初、アストリンゼントローションで拭き中性のクリームを下地にしてパウダーをたゝきます、その上をローションでそつとおさへ、いま一度パウダーをたゝき頰紅、口紅、眉墨をつけます

☆…美顏術—パックが一番よろしうございませう、パックは、卵の白味パック、オキシフルのパック、又はパックの粉をローションで溶いていたします

海外ニュース

列車衝突の最中お產して母子無事

先頃メキシコ南部クワダラハラ地方で近來稀な列車事故が起つた、死者廿一名、重傷五十名と傳へられるが、目擊者の談によると現場は慘憺たるもので、殊に酷いのは[illegible]寢臺車であり旅客は[illegible]に幾重にもひつくり返り乘客は粉微塵になつてゐた、巡査の一團は殆ど總て即死といふ位だつた

▲所がこの二等車の直ぐ後に連結された客車の中で、この騷動が起つた、一人の女が衝突のショックで突然產氣づき、[illegible]としてゐる旅客の[illegible]の中で、[illegible]を生み落したのである、同乘の醫學生の看護で母子共健全なる由だといふ

赤ちゃんのおむつ

おむつは初めは二尺四方位の軟かい吸收性の布（木綿で出來たもの）を用ひますが、赤ちゃんが發育して大きくなつたら三尺四方位の大きさのものに代へます

ゴムのオシメカバーは始終使ふと濕氣が籠つて皮膚が爛れてしまひますから外出する時の外はなるべく使はないやうにしたいものです

模樣の美は過去の產物

無地ものを生かせ

身體の線を出さねば裝飾も無駄

近頃の人の裝ひ

近頃洋裝の方は無地ものがかなり上手に使はれるやうになりました。これは形に變化があるので、自然各自の好む色がはつきりとつかめる因もありませう、しかし和服は裁ち方が同じで變化がないので、地質や柄にとらはれがちですが、もう少し無地ものを用ひてみたらどうでせう。支那や朝鮮の方では紋織的のものはありますが、殆ど無地といつてもよい位で、おちついた美しさがあります、よごれ易いとか實用的の方面もあるが、無地ものを用ひるやうになると一段と色の趣味が進んできます

昔は 色の種類は今ほどは無かつたが色によい落着きがありました、今のものは染色の良くないものが多くはないかと思ひます、西洋のものは華やかでもどこかしつとりおちついてゐるやうです、どうも近頃の日本の染色はけばけばしすぎます、つまり洗煉されてゐない生のいろが多いからです、和服は近くでみる習慣から、少し離れてよく引き立たせるといふよそほひが閑却されがちです、これは今までの日本畫にもその傾きがあるし、おしひろめてゆけば建築もさういへるでせう、近くで見ることに重點を置きすぎてゐます

もともと **模樣** は美しいものではあるが日本服にすわつた場合などそばで見るべきものです、かういふことも生活が變る時につれてだん〳〵變つてゆくべきものであると思ひます、ことにこの頃の若い人が華やかな大柄物をきてゐますが、どうも感心しない場合が多いのです、その模樣の輪郭が目立つてその外のもつと重要な線の緻を負かして終ふ結果になるのでどうも滿足出來ないところがあります

大柄は用ひ方によつてはよいが大體は却て自分を見にくゝさせるのです、やはり **着物** は體の線を出さねばなりませぬそれを殺してしまつては裝飾の目的にならぬことになりませう近頃洋裝に無地ものゝ多くなつたのはよい傾向だと思ひます、その考へが着物や羽織や帶におしすゝめられてゆくべきであります。何でも柄で美しくしようとすることは過去のことで、これからは無地ものをたくみに生かしてゆくところに時代の美しさがあると思ひます、無地ものを身につけることによつて各人の趣味も高まり、したがつて染色、[illegible]もゆくことに[illegible]

[illegible]つたり、おしろいがむらだつたりして近くでみると興ざめのすることがまゝあります、なるべく **自然** に見えるやうにすることが大切でせう、デパートなどの洋服部の人形が[illegible]になつてゐるが、日本である以上は、日本の顏の方がよく、日本髪といはぬまでもおかしいことだと思ひます、一時富士額の上からいつても、目も鼻もないすべたのものへ眼なり眉なりかけて置くのならとにかく、今髪の西洋人形にきせることは不自然です、要するにこれはもともと西洋からきたものを踏襲してゐるだけのことです、和服の方にも時々みかけることもあるが改止すべきことでせう、いろ〳〵の國をみて步くと、同じ **西洋** でも國によつて人形の顏がみな違ひます、日本の人形はやはり日本のものを主體としなければならぬと思ひます、勿論少しは外國のものもよいでせうが、たゞ基礎はどこまでも日本の形であつてほしいのです

大陸行進譜

大川兵五作　若山璘美畫

第四十五回

双美の失踪（四）

「トモダチノウチニキルシンパイフキヤウ　フタミ」

磯部家は名古屋である。これではどうすることも出來ない。民江にも磯田にも、双美の友達が名古屋にゐる事は全く初耳であつた。

民江は双美の部屋に行つて手紙を一つ一つ調べて見た。然し名古屋からの手紙は見當らなかつた。

「美佐子さんに聞いたら分るかも知れないわ」

民江はまだ思ひ切ることが出來なかつた。

「もう十一時ですからね」

磯田は時計を見てからさう云つた。

「美佐子さんはいらつしやいませんか？」

磯田は、遠山の言葉をさけるやうに、さう云つた。

「美佐子はまだ歸りませんが、一體どうしたんです」

遠山はそんなことを聞きながらも、双美のことで何か事件が持上つたのだなアと感つた。

「いや、一寸、お尋ねしたいことがあつたんですけれど、困つたなア」

磯田は飽くまで双美のことにふれまいとした。

「美佐子さんのお友達に、名古屋の方はないでせうか？」

「さうですねエ……一寸思ひ當りませんね」

「そんなこと云つてる時ぢやありませんよ、美佐子さんの家、あなた御存知でせう」

民江の態度はいよ〳〵冷たくなつて行つた。

「いや知りません」

「それでは、番地が分つてゐますから、宅の自動車で行つて來て下さい」

磯田はさう云はれると、しぶしぶと立ち上つた。誰のために、何をしてゐるのか、磯田はさう思ふと腹立たしささへ覺えるのであつた。

上野公園に近い、不忍池のはたに、遠山邦夫の下宿を探し出したのは、夜の十二時近くであつた。それでも勉強家の遠山の部屋には燈がついてゐた。

「遠山さん！」

磯田がちに呼ぶと、直ぐに遠山は二階から降りて來た。

「おや？磯田さんぢやないですか、どうしました」

[illegible]

遠山は、自分の聞くことについて、一言もふれようとしない磯田に對して、いさゝかムッとしたのである。

「美佐子さんはどちらですか？」

「もう歸つて來るでせう」

「双美さんから、何か云つて來なかつたでせうか？」

磯田はふと、或は双美と美佐子が[illegible]とが連絡を取つて、美佐子が双美のところに出かけたのではないかと感つたのであつた。

「さあ、そいつはさつぱり分りませんね」

遠山は冷やかに云つた。

表の方で靴の音がした。遠山の妹の美佐子であつた。美佐子はオーバーの襟を立てゝ勝手でおさへ、寒さうに歸つて來た。家の前まで來るとオヤツ!といつた顏をして立止つた。

「あ、美佐子さんですか、晩くお邪魔してすみません」

美佐子は磯田と知つて二階の[illegible]

おそば!!!電話4番
やぶそばへ!!
天ぷらそば
おかめそば
玉子とじ
鴨南ばん
出前迅速
其の他各種御座います。何卒御試食の程御願申ます。

專門
花柳病科
婦人科
產科
▼入院隨意
井坂醫院
平市田町　電話五五九番

磐城セメント會社特約店
釜屋商店
磐城平市五丁目
電話九・九九
□良品廉價に勝る商略なし
□確實敏捷は（久）の生命なり

吉田眼科醫院
平市紺屋町電話六八番
醫學士　吉田久雄

募集
永續者には將來の保證を致します
ボーイさん
◈堅實は營業方針の　サロンのお客は當地樣一流の方々です
◈色々な方に接することが社交儀禮の實際に學び成功の糸口ともなります
調理見習婦人
◈定評ある　サロンの調理法を御傳授いたします
◈見習ひとして調理場に御勤務出來る御婦人に限る
◈14歲以上30歲迄の健康な方…
◈3年以上勤續出來る方…
◈親權者若くは本人御來談下さい。……
平市銀座街
電話592
サロン

旅舍
大幸館
私は平市出生ですから特に鄕里の皆樣方の爲に御便利を圖ります
主人　比佐棟雄
東京上野驛前（下谷郵便局橫通角）
電話下谷六七七番

產科
婦人科
專門
平市南町
根本醫院
（入院隨時）
【電話三四番】

ひたら正宗
芳醇！
美味！
山崎合名會社
電話一〇番

三井タクシー
平　二　電話六八五番

平市田町
鈴木醫院
電話五八番

國旗と提灯
スタヤ

鰹節
特製
みりん干
鰹
美味
いか鹽から
魚問屋
志賀盛榮商店
平市四丁目（電話二一三番）
日本生命平代理店

內科
外科
一般
金成醫院
金成忠義
平市鍛冶町　電話三五八番

實株は買ツテ御手元へ必ズ儲カル優良株
投資指針
◉支那事變公債四萬圓マデ買マス。
平市四丁目三十三
富岡株式店
電話二五八番

齒科口腔外科
レントゲン科
院長　東京齒科醫學士　原精一
電話三一番
平市土橋通
原齒科醫院

是非！
御融通には御用命下さい萬事便利な御相談に應じます
公債、債券、質物一般
三井質店
平四　電話六〇六番

電話五二〇番
開設致しました。何卒御利用下さい。
◎御商談に小會合に好適出前迅速
平市田町
山茶荘